甲州市議会会派紙
平塚　悟
矢崎　ゆき
日向　正

みらい政友会だより

令和4年 2月 20日
第1号

議員力アップを目指します

会派代表　平塚　悟

令和３年１１月に行われた市議会議員選挙の結果、
新たに３名で議会内会派「みらい政友会」を結成して活動を始めました。
「将来に希望」と「生活に安心」をもたらす甲州市政を目指して、
将来を見据えた政策提案と行財政運営のチェックの職責を果たしてまいります。

みらい政友会 会派理念

将来に希望を　生活に安心を

① 二元代表制の意義を重く捉え、自主自立、是々非々の立場を堅持する。
② 付託された責任を果たすため、自由闊達な議論を積み重ねるとともに、積極的に政策提案を行っていく。
③ 市民の声に耳を傾け、速やかにその対応ができるよう、常に自己研鑽に励む。
④ 市民に身近な議会にしていくため、情報公開と情報発信に努める。
⑤ 男女が対等なパートナーとして、様々な方針の決定に参画できる社会を目指す。

議会改革の推進
市政の見える化に　取り組む

甲州市議会では「議会改革研究会」「議会ＩＣＴ研究会」を立ち上げて議会活動を円滑に行うために改革と研究を継続してきました。また、令和3年4月より「カーボンニュートラル研究会」を立ち上げて、ゼロカーボンシティの宣言をした甲州市の脱炭素化への取り組みを推進するべく、その方向性や政策提言に向けて、市議会独自で研究を始めています。

議会ＩＣＴ研究会では、議会活動へのＩＣＴ機器の導入、ペーパーレス化の推進、議会活動の可視化に取り組んできました。会議規則の見直しや会議規程の改定を行い、令和3年9月議会から議場においてもＩＣＴ機器を利用できるようになりました。

今後も、市政がデジタル化を推進して持続可能な行財政を進めていく上で、市議会も自らを変革していく必要があります。

市の財政について
勉強会開催

1月26日、会派所属議員と新人議員の有志による勉強会を開催しました。

勉強会では、新年度の予算編成の状況や、甲州市の財政について現状を把握するとともに、歳入（収入）予算から歳出（支出）予算を読み解くスキルアップを目的としました。

先行きが見えないコロナ感染症の影響や人口減少が進む中で、効率的で効果的な財政運営について意見交換を行いました。

勉強会の様子

我々は、納税は公需であるとの考えを持ち、市民の皆様が納めた税がどのような事業となって市民生活に反映されていくのか（されたのか）を常に意識して議論に臨んでいきます。

会派紙合併号

甲州市議会議員
日向（ひゅうが）　正（ただし）のひまわり新聞

第9号

甲州市議会選出の監査委員に就任しました

11月の臨時議会において議長や各委員長が選任されましたが、私は議員から選出される議選監査委員として、議会の選出を受け、市長より任命されました。

市の監査委員は二名で、もう一人は経営見識を持つ識見監査委員として、長瀬静男氏が就任しています。

議選監査委員は、監査により知りえた秘密を守る必要があることを理由に、一般質問は出来ないというのが、規則はありませんが、慣例になっています。

日頃の議員活動に基づき監査の仕事をすることは、意味のあることだとは思います。しかし、選挙で選ばれた議員が議場での発言に制限が加えられることに矛盾を感じ、他の自治体の事例などを調べたところ、議員から監査委員を選出する制度を止めている自治体が増えている事を知りました。

国も、最近、こうした議選監査の制度を採用しなくても良いとしていますので、各自治体での見直しが進んでいくと思われます。

今のところ考え方や事例を集め、甲州市としての在り方の研究を始めたところですが、財政が厳しさを増す中、しっかりとした監査制度を作っていきます。

新しい会派構成
多くなった一人会派議員

現在の会派構成は左記の通りです。今回は、日本共産党と公明党とは別に、4人が一人会派での活動を始めており、合計6人と多いのが特徴です。

3人以上の会派が交渉会派として、議長が招集する代表者会議に出席し、人事や様々な案件について意見交換を行います。

もちろん最終決定は本会議や委員会での投票や議決によりますが、素案作りには一人会派は参加しませんので、3人以上の交渉会派の議員が役職に就くことが多くなります。そのため、一人会派の議員は議員同志の勉強の機会、議会活動の経験や発言の機会などが少なくなるので、一人会派の議員が多いことは、議会全体の力が低下する恐れがあります。

市民と連携する議員活動を

各種の選挙で投票率が下がっています。民主主義の骨格とも言える選挙による議員代表制や、格差が広がり気候変動を引き起こしている資本主義が、変革を迫られています。

さらにコロナ感染症で圧縮された日常をどう取り戻すのか、大きな課題に直面しています。今こそ、市民と連携する政治活動が必要になってきていると思います。

甲州市議会会派構成

みらい政友会　（役職）
○平塚　悟　厚生経済委員長
矢崎　友規　副議長
日向　正　議選監査委員

政和クラブ
○中村　勝彦
岡部紀久雄　議会運営委員長
高畑　一幸　議長
青柳　好文
高野　浩一

市民ハーモニー
○飯島　孝也　議会広報委員長
小林真理子　総務文教委員長
荻原　哲也

一人会派　（会派名）
丸山　国一　（政進会）
廣瀬　明弘　（ゆめみらいの会）
相沢　俊行　（甲州希望の会）
小野　公秀　（こうしゅう会）
佐藤　浩美　（日本共産党）
有賀　公子　（公明党）

敬称略　○印　会派代表
（副委員長　表記省略）

いつもは、本会議、委員会の傍聴ができますが、コロナ感染症防止のため、制限があります。
本議会の一般質問は
ＣＡＴＶで放映します

ストップ気候変動
ゼロカーボン学習会開催

主なテーマ
①再生エネルギー開発
②生ごみの肥料化
③食品ロス削減　その他

参加者募集中

気候変動に危機感を抱く議員を中心に、市民を交えた学習会を開催します。

コロナ禍なので、当面は議員だけの学習会ですが、市民にも参加していただいての学習会にしていく予定です。

国レベルの二酸化炭素削減事業にも注意深く目配りをしながら、私たちが取り組むことができる対策をどう進めていくか、情報や意見交換を行っていきます。

参加ご希望の方は左記の電話などでお申込みください。気候変動はもう始まっています。対策にあなたの力をお貸しください。

ご意見をお知らせください
（電話）090－2670－1862
（メール）
cafe.de.chocolat@docomo.ne.jp
（事務所）
甲州市塩山上於曽 1603

甲州市議会議員

矢崎 ゆき

～ひとり一人が輝く甲州市へ～

矢崎ゆき　プロフィール

1973年甲府市に生まれる
山梨県立女子短期大学・
生活科学科　研究課程　終了
株式会社エフエム富士　入社
（15年間勤務し結婚を機に退職）
令和2年　甲州市議会議員当選
現在2期目

副議長に就任いたしました

令和3年11月の臨時会において、議員のみなさまの信任により副議長に就任させていただきました。

大変光栄であるとともにその責任の重さも感じております。任期中は議長の補佐役として、職務を全うしてまいります。

頑張ります！！

令和の時代になり、多くの女性が社会でキラキラと自分らしく活躍しています。

しかし政治の世界においては、世界水準におよびません。男女の格差をなくし活躍できる社会になるようにしていかなければなりません。

ひとり1人が輝く甲州市であるために「政治は生活」と市政に関心をもっていただけるように、歩みよりが必要ではないでしょうか。

女性議員 3名から4名へ

世界経済フォーラムが2021年3月に発表した男女格差報告（ジェンダー・ギャップ指数）によると、日本は政治分野で156カ国中147位と最低ラインでした。

昨年11月の甲州市議会議員選挙において、17名の議員が当選され、そのうち女性議員は4名となりました。

男性が圧倒的多数の議会で、女性が真に望む政策が通りにくいのでは？という不安があります。多様性が叫ばれている時代に、議員の男女の比率に偏りがあってはならないのかもしれません。

一方で、女性が議員になるには大きなハードルがあります。幼い子どもがいたり、介護や家事。まだまだ女性の役割であるという社会通念があります。家族の協力無くして議員の仕事と家事、子育てを両立できない。という女性議員は多いのではないでしょうか。

私たち女性議員の所属する政党や政治哲学、思想はそれぞれ違いますが、女性の視点を活かし情報を共有し連携していきたいと思います。

日常の些細な気づきごとがありましたら、ぜひ私たちにお声がけください。

女性の政治参加に取り組む!!

選挙準備は、女性の立候補を遠ざける？！

女性議員が増えない理由は何か？と聞かれることがありますが、選挙準備にかかる時間の使い方が、女性の生活時間と合わないからだと思います。

ひとりでも多くの支持を得るため、朝早くから夜遅くまで活動し続けることは、体力的な厳しさに加え、特に子育て中の女性にとっては相当難しいのではないでしょうか。

女性の視点がなぜ政治に必要か？こうした時間の使い方、これまでの当たり前とされてきた慣習を、視点を変えてみつめなおすことが出来るからだと思います。

新型コロナウイルスによって私たちの暮らしが大きな変化を余儀なくされている中で、より多様な民意の反映や市民の意見の集約が求められます。子育て支援や介護といった問題は、全て政治につながっています。実感を持った女性の視点を形にしていきたい！

女性があきらめずに活躍できる社会を目指し活動していきます。

「男女共同参画社会」推進計画の進捗は？多様性への理解醸成を進めていくべき！

答弁：行政や企業の男女雇用に限定せず、あらゆる分野の女性参画を位置付けていきたい。さらに大規模災害時の男女共同参画推進を重点項目としていく。性別等に関わりなく、あらゆる人が個性と能力を発揮できるように、計画策定に取り組む。

※ 令和3年9月定例会にて一般質問しました。

YUKIの想い

男女共同参画社会
↑
決定の場への女性の参画
↑
議会を通じた政治参画
○女性議員を増やす
○女性議員を通して市政に関わる等

3月定例会では新年度の予算審査、審議します

予算ってなに？

1年度（4月から翌年3月まで）の歳入（入ってくるお金）と歳出（使うお金）を事前に見積もること。

予算はだれがどうやって決めるの？

市長が予算案をつくります。
そして、市議会の審議と決議により決まります。

一度決めた予算は変わらないの？

年度途中であっても、緊急でお金を使わなければならないときは予算を変える必要があります。このような場合にも、市長が変更する予算案をつくり、当初予算と同じように市議会へ提案します。この予算のことを補正予算といいます。

年度の最初に決まった予算を「当初予算」といいます。

矢崎ゆきを支援する会
〒404-0043　甲州市塩山下於曽542
FAX：0553-32-2061
E-mail：yukihato_326@hotmail.co.jp

♡みなさまのご意見お聞かせください

甲州市議会議員

平塚さとる

平塚さとる プロフィール
1980年3月生まれ　41歳
勝沼中学校～日川高等学校～明治大学 卒
（座右の銘）「天を仰ぎ地を歩む」

甲州市政報告書 No.2

―― 新たなふるさとづくりに邁進 ――

皆様のお力で再度市政に送り出していただきました。初心を忘れずに、市民の負託に応えられるように誠心誠意尽力してまいります。

今号は令和3年12月議会の一般質問で取り上げた「連携中枢都市圏構想」について解説いたします。

フェイスブックにて
活動報告発信中
Facebookもチェック

令和4年2月20日号　●発行人　平塚 悟　甲州市勝沼町勝沼3251番地　TEL.090-4844-8769　E-mail: str.hiratsuka@gmail.com　●発行所　株式会社 三興山梨　甲州市勝沼町勝沼2993

特集 連携中枢都市圏構想 ―広域的な視点で地域の存続を目指す―

人口減少・少子高齢化における地域経済の衰退や、インフラ等の老朽化による住民サービスの質の低下などの課題は、単独の自治体だけでは解決が難しくなってきています。

連携中枢都市圏の目的は、地域住民の日常生活や消費行動、企業活動等が行われている関係性のある自治体同士が、連携して産業・観光振興や福祉の増進などに取り組み、一定の圏域人口を有し、活力ある社会経済を維持するための拠点を形成していくことです。

甲州市は、甲府市を中核市とした県央自治体9市1町による連携や圏域の在り方などについて協議するため、これまでに実務者会議への出席を進め、首長準備会にも参加しています。

既に甲州市では、消防行政、水道事業、ごみ処理、後期高齢者医療など様々な生活関連分野において、甲府・峡東地域の近隣自治体と一部事務組合や広域連合を組織して、単独では提供しきれない市民サービスの向上に努めています。

其のうえで、圏域においてどのような連携協約を結んでいくべきなのか、甲州市の自主自立を基本としながらも、自治体間の協力関係による事務事業の効率化と地域活性化を期待します。

公共施設 相互利用の連携を

資源を融通し合い、地域を越えた連携により住民生活を支えていく上で、各自治体で管理する公共施設を融通し合い相互利用を進めて行くことも必要です。

山梨県内でも上野原市は、大月市や相模原市等の近隣自治体と住民同士の相互利用に関する協定を結んでいて、対象となる公共施設は地元住民と同料金で利用できるようになっています。

甲州市も行財政の効率化のため、公共施設の適正化と縮減の検討を進めて行く中で、施設の利用促進と維持管理費の削減の両方から、近隣自治体との広域連携の考察を進めて行くべきです。

消防通信指令センター 共同運用は実現できるか

山梨県では、消防行政の効率化と広域連携を図るために、消防連携・協力推進計画を策定しています。連携協力の具体的な内容は、消防通信指令センターや、はしご付き消防車の共同運用などが上げられます。

特に、消防通信指令センターの資器材の更新やシステムの維持管理には、多額の費用を要するため、共同運用による効率化と効果的な運用が期待できます。

県央自治体による連携中枢都市圏の協議の中で、消防通信指令センターの共同運用に道筋を立てれるのか注視しています。

千葉県北西部の共同指令センターを視察研修（2019年10月）

計画的に車両の入れ替えが行われている

東山梨行政事務組合 議会活動

東山梨行政事務組合は、山梨市・甲州市・笛吹市により構成され、2市（山梨市・甲州市）の消防、介護認定審査及び障害者総合支援認定審査等に関する事務と3市の斎場（東山聖苑）に関する事務を行っています。

引き続き東山梨行政事務組合議会に所属となりましたが、昨年12月より組合議会副議長に就任しました。

東山梨消防本部では、これまでに消防救急無線のデジタル化を始め、令和元年度・はしご付き消防車、令和2年度・救助工作車、令和3年度（予定）・化学消防車の入れ替えを行い、地域住民の生命と財産を守るために、訓練の充実と消防力の強化を図っています。